



▲市内には桜を鑑賞できる場所がたくさんあり、ずっとずっと見ていると穏やかな気持ちになります。(喜沢の桜)

### 一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では3月6日、7日、8日の3日間にかけて、14人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。

## そとがききたい

**市民生活部長** 今後は、在は青少年の検挙者もなく、市内に薬物が入り込んでいないようだが、地域的には大変危険な地域との話もある。まずは市民への情報提供と相談窓口の準備をしてはどうか。



▲障害のある方たちが働く作業所「Cafe ころぼ」(福祉保健センター内)

などを通じて、障害者雇用における各種支援制度の紹介を行うなど、啓発していく。また、市独自の検討課題としてい



### 脱法ハープ

#### 薬物への対応は

「関係機関と連携していく」

富岡節子議員



**議員** 今の新聞で報道され、社会問題となっている脱法ハープについて、市としては、どのように対応していくのか。

**市民生活部長** 市には薬物乱用防止の担当はない。

**議員** 戸田市は若い世代が多く、さまざまなストレスを抱えて生活していることが多い。そのような中、パソコン等により容易に入手しやすい脱法ハープは

**議員** 戸田市は障害児・者の学ぶ場、育成の場は充実しているようだが、働く気持ちがある障害者が安心して働ける環境を整えるための取り組みはあるか。

障害者雇用促進の取り組みは

大変危険である。市として市民の安心・安全を守る観点からも積極的な対応を要望する。

## こども医療費の無料化を3カ月早くできないか

「システムの改修があるので難しい」



日本共産党 望月久晴 議員

**議員** こども医療費が中学卒業まで無料になるが、3カ月程度早く実施できないか。

**議員** 国保税は高過ぎる。一般会計からの繰り入れをふやし、引き下げできないか。生活に困窮している高齢者に、家賃補助制度をつくれぬか。

### 国保税の引き下げを

**市長** 国保財政は本当に厳しい状況で、値下げはできない。国・県の支援がない中、市単独では難しい。

### 放射能対策の充実

**議員** 食材用の放射線測定器の購入について、補正予算、予備費など対応がバラバラで、他市と比べ結果的に納入が遅れていた。統一して迅速な予算執行ができないのか。水循環センターの放射能汚染された焼却灰の処分はできないのか。放射能汚染について市民に対し説明会を開



▲食材検査用の放射線測定器

催できないか。**市長** 今後、迅速にできるよう努力する。県と民間の処分業者との合意ができ、一部搬出が始まった。市民が安心して生活できるよう、市民を対象に講演会の実施を検討していきたい。

## 『国民の信頼を得ることが大事』

議員研修会を開催

議会では、毎年、見識を広げるために全議員を対象に政治や経済など、各界から講師を招いて研修会を開催しています。

平成23年度は、1月23日に、テレビ朝日コメンテーターの三反園 訓氏を講師に招いて、「どうなる日本の政治・経済！東日本大震災後の今後の日本を読み解く」と題して開催しました。

同氏は、政治記者として自民党時代の歴代総理大臣をはじめ、与野党要人の海外同行取材なども数多く経験されておられます。

講演では、歴代総理大臣との色々なエピソードなども織り交ぜながら、今後の政局についてお話しされ「これからの政局を安定に保つには、国民の信頼を得ることができかが大事なことであり、政治家みずから身を削り国民にお願ひすることである。そして、厳しい時代だからこそ、夢・希望・勇気を持ち、想像を働かせて取り組むことである。」とお話があり、今後、議員活動をしていく上で、大変有意義な研修会となりました。

▲講師は三反園 訓氏